全国・学力学習状況調査等の結果と指導改善計画について〔　国　語　〕

三原市立三原小学校

本年度正答率

	国語Ａ	国語Ｂ
本校	８１．９	６９．１
広島県	７８．４	６０．５
全国	７２．９	５７．８

本年度の結果について

○昨年度は，条件に合わせた文章を構成して書いたり，文章と資料とを関係付けて書いたりすることに課題があった。そこで，次の３点を工夫して取組を行った。１点目は，三原小授業モデルをもとに自分の考えを話したり書いたりする活動に重点をおいて授業改善を行った。２点目は，授業の中で，複数の条件や情報から自分の考えを記述する活動を積極的に取り入れた。３点目は，作文タイムで，段落構成や記述形式を意識した文章を書けるように指導を行った。
○今年度の調査では，Ａ問題は８１．９％で，基礎的・基本的な内容については一定の定着が見られた。しかし，Ｂ問題は，６９．１％で，広島県，全国平均共に上回ったものの，昨年に引き続き「書くこと」の設問の通過率が６３．９％と低く，まだ課題が残っている。

重点課題

【課題１】
「書くこと・読むこと」において，文章とグラフを関係付ながら読み取ったことを適切な言葉で説明することに課題がある（５０．９%）。これは，図やグラフなどの資料をもとにして分かったことなどを説明したり書いたりする活動が不十分であることが原因だと考えられる。
【課題２】
「書くこと・読むこと」において，本文の内容を受けながら２つのグラフから分かったことを比較して課題が何かを捉えて書くことに課題がある。これは，資料と文章を比較関連させて考えさせる授業を仕組んでいないことが原因だと考えられる。

標準学力調査に向けた重点取組

昨年度に引き続き，書かれた文章の内容や形式を参考にして，紹介文を書くことや２つの資料から必要な情報を取り出して説明を書くことに課題がある。授業と繰り返し学習を通して次の通り取組を行う。
○　授業
アクティブラーニングを導入した授業を実施する。例えば，説明文の授業では，本文から内容や書き方の工夫を見つけ，工夫を取入れた文章を書いたり，書いた文章を友達同士で検討し合い，よいところや不十分なところを付箋に書いて，伝え合ったり，説明し合ったりするなど，主体的・対話的な深い学びをめざした授業を行う。
○　繰り返し学習
本校で独自の聞き取りや再話の文章を作成し，作成した文章を用いて，朝会や桜山タイムで，繰り返し文章を書く練習をさせる。

取組計画表

	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
校内研修等（職員）	聞き取り･再話の文章の開発・作成	公開研究会	フォローアッププリントを作成・研修				
児童への取組	【授業】アクティブラーニングを導入した授業の実施（とらえ方・考え方を大切にした授業やノート指導・対話を取入れた授業等の実施により，論理的思考力を育む）						
	【繰り返し学習】朝会や桜山タイムに聞き取り・再話の練習やフォローアッププリントの取組						
				学期末テスト（平均８５点）	標準学力調査（全国平均＋８ポイント）		学年末テスト（平均８５点）

別紙

全国・学力学習状況調査等の結果と指導改善計画について〔　算　数　〕

三原市立三原小学校

本年度正答率

	算数Ａ	算数Ｂ
本校	８６．４	５７．９
広島県	７９．７	４９．５
全国	７７．６	４７．２

本年度の結果について

○昨年度は，活用問題において複数の情報を関連付けて考えることに課題があった。また，図形領域の通過率が最も低かった。そこで，情報を整理し，筋道立てて考える力を育むために，三原小授業モデルをもとに，自分の考えを説明するだけでなく，友達の解決方法を説明する場面を設定したり，ノート指導に力を入れた取組を行ったりしてきた。
○今年度の調査では，Ａ問題は，８６．４％で基礎的・基本的な内容については一定の定着が見られた。しかし，Ｂ問題は，５７．９％で，広島県，全国平均共に上回ったものの，昨年に引き続き，図形の領域通過率が４６．７％と低く，まだ課題が残っている。

重点課題

【課題１】
「数と計算」領域で，目標のタイムを求める式の中の０．４や０．３が表す意味を書く問題（通過率２７．３％）に課題がある。示された式の中の数値の意味を理解できていない児童がほとんどであった。
【課題２】
「図形」領域で，示された形をつくることができることを説明する式の意味を，数や演算の表す内容に着目して書く問題（通過率２０．０％）に課題がある。示された除法の式と関連付け，角の大きさを基に，式の意味の説明をすることができていなかった。

標準学力調査に向けた重点取組

式の中の数値の意味を理解したり，式の意味を説明したりする問題に課題がある。授業と繰り返し学習を通して次の通り取組を行う。
○　授業
立式をする際には，自力解決の後，立式した根拠をペアやグループで説明し合う活動を継続して行う。友達の考えの分かりやすい所は，ノートに書き加えさせるようにし，思考の過程が残るようにしていく。また，式を先に提示し，式から考え方を読み取ったり，友達が考えた式を他の児童が説明したりする活動を仕組み，式の意味を説明する力を付けていく。
○　繰り返し学習
式の意味を説明する力をつけるために，家庭学習や桜山タイムで式を提示しその式に合う問題を作る活動を積極的に行わせる。

取組計画表

	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
校内研修等（職員）	示範授業をもとに授業のポイントを学ぶ	公開研究会					
	ＮＣＣ：学びの活性化　授業力の向上の取組						
児童への取組	【授業】アクティブラーニングを導入した授業の実施（とらえ方・考え方を大切にした授業やノート指導・対話を取入れた授業等の実施により，論理的思考力を育む）						
	【繰り返し学習】桜山タイムや宿題でフォローアッププリントの取組						
				学期末テスト（平均８５点）	標準学力調査（全国平均＋８ポイント）		学年末テスト（平均８５点）